



FIDO アライアンスの技術仕様が ITU の国際標準規格として採択 (国際版の日本語訳)

マウンテンビュー、カリフォルニア、2018年12月18日 - オープンで相互運用可能な認証標準を策定している業界のコンソーシアムである [FIDO アライアンス](#) は本日、その2つの仕様が [国際電気通信連合の電気通信標準化部門 \(ITU-T\)](#) によって国際標準として承認されたことを発表しました。このマイルストーンの達成により、FIDO UAF 1.1¹とCTAP² (デバイス間連携仕様) は、情報通信技術 (ICT) におけるグローバルな基盤の一つとして、公式のITU標準 (ITU-T 勧告) になりました。

ITU-T は、国際連合の ICT 専門機関である ITU の標準化機関の1つです。FIDO アライアンスでは、その仕様が国家行政機関および世界有数の ICT 企業を含む ITU メンバーによる公式の ITU-T 勧告として承認される前に、綿密なプロセスを経ています。新しい ITU-T 勧告は、セキュリティに関する ITU の標準化専門グループである [ITU-T 研究グループ 17](#) の責任下にあります。

FIDO アライアンスのエグゼクティブ・ディレクターであるブレット・マクドウェルは、「FIDO アライアンスは、公開鍵暗号方式に基づくオープンスタンダードを通じてパスワードや OTP よりも堅牢で使いやすいオンライン認証の向上に取り組んでいます。私たちがこの使命を達成する方法の1つは、FIDO アライアンスにおいて成熟した技術仕様書を、ITU-T のような国際的に認知された標準化団体に正式な標準として提出することです。間違いなく ICT 標準化の最高基準である ITU-T におけるこの度の承認は FIDO 認証技術の成熟度を示し、W3C (World Wide Web Consortium) による Web 標準化作業を補完するものです」と述べています。

ITU-T 研究グループ 17 の議長である Heung Youl Youm は、「ITU-T 研究グループ 17 は引き続き FIDO アライアンスとの協力を強化していきます。ITU 標準として最近採択された FIDO アライアンスにおけるこの2つの仕様は、公開鍵暗号方式とさまざまなユーザー検証方法に基づいた堅牢なオンライン認証を提供するために、金融分野などのさまざまな業界で広く採用されています。また、これらの新しい ITU 標準は、2つの FIDO 仕様が 193 の ITU 加盟国にわたって採用されるにあたり、具体的な基準を提供することになるでしょう」と述べています。

¹ FIDO Universal Authentication Framework 1.1

² FIDO Client to Authenticator Protocols

ITU の作業部会の「アイデンティティ・マネジメント・アーキテクチャーとメカニズム」([Q10 / 17](#)) 分野のレポートであるアビー・バービル (Abbie Barbir) は、「ITU-T 研究グループ 17 内の作業部会は、FIDO アライアンスと協力して最先端のセキュリティ技術の標準化を促進できることを嬉しく思っています。また、この作業は、パスワードのセキュリティ上の制限に対処し、それを解決するのに役立ちます」と述べています。

新たに ITU-T 勧告となった仕様は次のとおりです。

- FIDO UAF 1.1 (ITU-T 勧告 X.1277) . バイオメトリクスや他の認証要素を使用してローカルデバイスでユーザーを認証することにより、パスワードレスな認証を提供するモバイル標準です。
- CTAP (勧告 ITU-T X.1278) . W3C Web 認証標準と共に [FIDO2 仕様](#)の一部であり FIDO U2F 1.2 サポートを含む CTAP。FIDO2 対応ブラウザと USB、NFC、BLE で接続する外部認証器 (FIDO セキュリティキー、モバイルデバイス) を利用することで、パスワードレス、2 要素もしくは多要素の認証体験を提供します。

FIDO アライアンスおよび FIDO 認証の詳細については、<https://www.fidoalliance.org> を参照してください。

FIDO アライアンスについて

「高速なオンライン ID 認証」を意味する FIDO (Fast IDentity Online) アライアンス www.fidoalliance.org は、セキュリティと利便性の両立をめざすため、2012 年 7 月に設立されたグローバルな非営利団体です。堅牢な認証技術に相互運用性が確保されていない状況を改善し、ユーザーが多くの ID とパスワードを覚えなければならないという煩わしさを解消することを目的としています。FIDO アライアンスは、認証におけるパスワード依存を軽減するために、オープンで拡張性と相互運用性のあるシンプルで堅牢な「FIDO 認証」を標準化することで、オンラインサービスの本質に変革をもたらします。FIDO 認証はオンラインサービスの利用時に、堅牢でプライバシーが確保された便利な認証を提供します。

FIDO アライアンス PR 担当者

FIDO アライアンス

日本担当プログラムマネジャー

土屋 敦裕

info@fidoalliance.org